ご使用上のご注意

- AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
  定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯や器具の故障の原因となります。
- この器具は周囲温度5℃~35℃の中で使用してください。周囲の温度が範囲外の場合、過熱して、発煙や発火の原因となります。
- 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。異常過熱による、器具の故障や、破損の原因となります。
- LEDランプにはバラツキがあるため、同一品番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。故障ではありません。予めご了承ください。
- オフライト（ホタル）壁スイッチには使用しないでください。器具が消灯しないことがあります。

点検とお手入れ

必ず電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用するために定期的 (6 ヶ月に 1 回程度) に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取り、器具に洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤等をかけたりしないでください。変色・破損の原因になります。

製品保証について

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内にて故障した場合には、無料修理、または代品と交換いたします。保証期間内でも次の場合には原則として有料修理となります。

1) 使用上の過失、衝撃、不注意、浸水故障した場合。
2) 製品を分解又は改造して生じた故障。
3) 火災、地震、水害等の天災地変で生じた故障。
4) 異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
7) 輸送過程での取り扱いによる損傷及び故障。
8) 本取扱説明書に従わなかったためによる損傷及び故障。
9) 製品使用条件以外での使い方で発生した損傷為び故障。
10) 日本国内以外での使用による故障及び損傷

保証期間

照明器具の保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
24 時間連続使用など、1 日 20 時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って本書により お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談及びご不明な点は、お買い上げの販売店、工事店または弊社にお問い合わせください。

製品に関してのお問い合わせ・ご相談

有限会社 上手工作所

大阪府豊能郡豊能町木代 164-1
TEL / 072-743-9025　FAX / 072-743-9043
E-mail / info@jo-zu-works.com

202408

保管用

取扱説明書

型　番　OL007-ALBK/OL007-BR/OL007-AL/
OL008-ALBK/OL008-BR/OL008-AL

商品名　玄関灯 HOLY・BELL

下向用　防雨型

この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お客様へ
- ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 器具の取付工事は、必ず工事店・電器店 (有資格者) にご依頼ください。

工事店様へ
- 施工前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警　告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します

厳守

この器具は壁面取付専用です。指定以外の場所には取付けないでください。火災・落下の原因になります。

次のような場所には取り付けないでください。
- 補強材のない場所
  （ボックスに取付ける場所を除く）
- 石膏ボードなど弱い建材面
- 樹脂性ボックスカバー
  （埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けること）
- 凹凸のある面
- 雨水が地表面にたまる場所
- 雪で器具が埋没する場所

火災・落下の原因になるほか、防水性能が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。

禁止

器具を布や紙等でおおったり、荷重をかけたりしないでください。器具の真下にストーブ等の高温なものを置かないでください。
火災・感電・落下の原因になります。

器具の改造や部品の変更は行わないでください。
火災・感電・落下等の原因になります。

厳守

器具の異常を感じたら速やかに電源を切ってください。火災・感電の原因になります。異常がおさまったことを確認したのち、販売店、工事店、または弊社にご相談ください。

この器具は下向き取付け専用です。ご指定以外の方向に取付けすると、火災や感電・落下の原因になります。

禁止

一般型照明器具（防雨型）です。
振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないでください。
転倒や落下、破損によるケガ、漏電・感電事故の原因となります。

⚠ 注　意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます

禁止

濡れた手で作業しないでください。感電や漏電事故の原因となります。

禁止

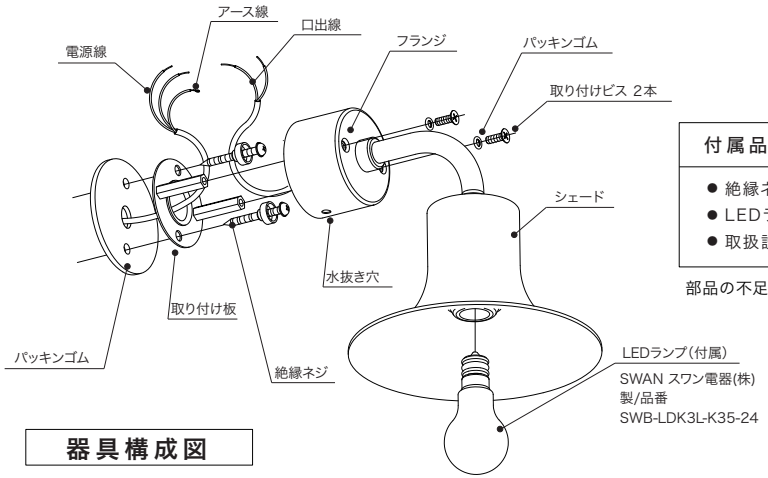
LED を直視しないでください。目に悪影響を及ぼす原因になります。

厳守

照明器具には寿命があります。設置して 8~10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をしてください。
※使用条件：周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。3 年に 1 回は、工事店等の専門家による点検を受けてください。
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等の原因になります。

01 各部の名称

説明図は一部を省略・抽象化しています。
またシェードの形状が異なる場合があります。

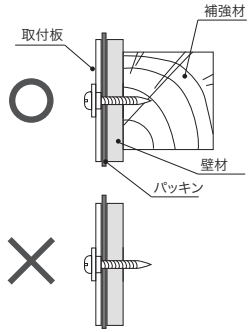


器具構成図

付属品	
● 絶縁ネジ	2本
● LEDランプ	1個
● 取扱説明書（本書）	1枚

部品の不足がある場合はご連絡ください

02 取り付け場所の確認



⚠ 警　告　❗ 取付板は必ず補強材のある場所に設置してください

- 補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。
- コンクリート壁など、付属の絶縁ネジを直接取り付けられない場合には、金属製木ネジプラグ（カールプラグ等）を別途施工してから取付けてください。
- 必ず壁スイッチのあるところに取付けてください。
  壁スイッチ1つにつき玄関灯1台でご使用ください。1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。
- 調光器の付いている回路ではご使用になれません。

03 取り付けの前にご確認ください

⚠ 注 意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警 告

❗ 器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。取付けに不備があると、器具の落下による怪我や火災、感電事故の原因となります。

❗ 接地（アース）工事は電気設備技術基準にしたがって確実に行ってください。接地（アース）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。

04 取り付け手順

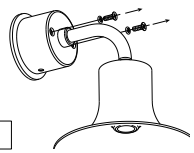


図 1

1 取り付け準備

- 器具取付壁面を平らに仕上げます。取付面に凹凸がありますと取付部のパッキンの防水性が損なわれますので十分ご注意ください。
- フランジにセットされている2ヶ所の取付ビスとパッキンゴムをはずして、取付板をはずしてください。この時、取付ビスとパッキンゴムの紛失にご注意ください。（図 1）

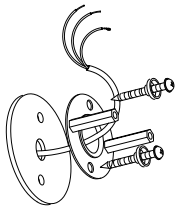


図 2

2 取付板の設置

- パッキンと取付板の電源穴に電源線とアース線を通し、付属の絶縁ネジ（2本）にて取付面に固定します。(図 2)

> ⚠ 注 意　建物の構造により、付属の絶縁ネジで取付られないことがあります。その場合は器具取付場所の構造をご確認の上、適切な長さの絶縁ネジで取り付けてください。

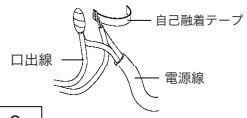


図 3

3 電源線の接続 （図 3）

- 電源線の被覆をむいて口出線と接続してください。
- 裸線が見えないように、自己融着テープでしっかりと巻きつけた上、絶縁テープを巻いてください。不良の場合、感電、漏電の原因となります。

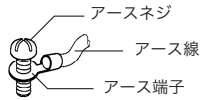


図 4

4 アース端子の接続 （図 4）

- フランジについているアースネジにアース線を接続して下さい。不良の場合、感電、漏電の原因となります。必ずD種接地工事を施してください。

5 フランジの取り付け（図 5）

- シェードを図の方向で取付ビス（2本）で確実に固定します。
- **取付面とパッキン及びフランジ外周部の隙間を、必ずシール材で埋めてください。**
  内部に水が入ると故障の原因となる場合があります。防水処理をおこなっていない場合の故障は保証の対象外となります。

> ⚠ 警 告　本体の取り付けには方向性があります。指定方向以外の取り付けを行うと、落下、感電、火災の原因となります。また、防水が不完全な場合、火災、感電の恐れがあります。

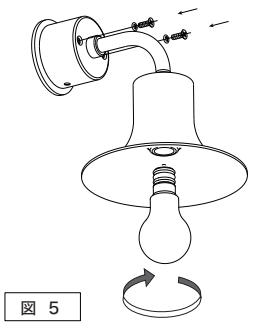


図 5

6 LED 電球の取りつけ（図 5）

- 電球をソケットに取り付けます。

> ⚠ 注 意　電球は丁寧に取り扱ってください。電球割れ等の事故原因となります。

7 スイッチ操作の確認

- 壁スイッチにて「ON–OFF」操作を行い、通電を確認してください。